業績目録記載の際の注意事項

1. 氏名欄には，評議員推薦書に添付する場合には被推薦者の氏名，学術奨励賞申請書に添付する場合には申請者の氏名を記載すること．
2. 評議員推薦書に添付する業績目録は，日本法医学会細則第 19 条にある条件を満たす業績を記載すること．原著論文のうち，第 19 条（1）③に該当するもの（本人が主たる研究者であって，5 年以内に Legal Medicine に掲載された論文）の番号に◎印，第 19 条（1）②に該当するもの（5 年以内に論文審査制度が設けられている学術雑誌に掲載されたもので，本人が主たる研究者である論文）の番号に○印を付すこと．学会発表のうち，第 19 条（2）②に該当するもの（5 年以内に本会の学術全国集会又は学術地方集会において，本人が主たる発表者であるもの）の番号に○印を付すこと．なお「主たる研究者」とは，筆頭著者（equallycontributed author を含む）または corresponding author を言う。また，複数の被推薦者を同一の論文の「主たる研究者」とすることはできない。
3. 学術奨励賞申請書に添付する業績目録は，日本法医学会細則第 44 条 3 にある条件を満たす業績を記載すること．主要な著書又は原著論文 5 編の業績目録の番号に○印を付すこと．著書は目次のコピー各 2 部，原著論文は別刷各 2 部を添付すること．
4. 著書が単著の場合には，書名．版数．発行地：出版社；発行年（西暦）．の順に記載すること．共著の場合には，著者名．題名．編者名　編．書名：副題．版数．発行地：出版社，発行年（西暦）．始頁–終頁．の順に記載すること．

   （例）新法医学．東京：南山堂．1959．（単著の場合）

   （例）永盛　肇．非虐待児症候群．四方一郎，永野耐造編．現代の法医学．第 2 版．東京：金原出版．1988：96–98.
5. 原著論文の記載順序は，著者全員の氏名．表題．掲載誌略名　発行年；巻（号）：始頁–終頁（西暦）．とし，被推薦者（または申請者）の氏名にアンダーラインを付すこと．

   （例）浅田　一．縊絞死体外表所見手控．日法医誌　1944;1(1): 85-88.

   （例）Kimura A, Ikeda H, Yasuda S, Yamaguchi K, Tsuji T. Brain tissue identification based on myosin heavy chain isoforms. Int J Leg Med 1995; 107:

193-196.

6. 学会発表は，発表者全員の氏名．演題．学術集会名．発表年（西暦）．の順に記載し，被推薦者（または申請者）の氏名にアンダーラインを付すこと．

（例）郡司啓文，栗崎恵美子，平岩幸一．虚血/再潅流に伴う骨格筋組織におけるスーパーオキサイド産生．第 87 次日本法医学会総会．2003.

（例）Atanasijevic TC, Popovic VM, Nikolic SD. Characteristics of chest injury in falls from heights. The 7th International Symposium Advances in Legal Medicine. 2008.